

■『デートDV』ってどんなイメージ?■

デートDVは、デートをする関係にある(あった)二者の間の「暴力」をいいます。

「『デート』がついているから軽いDV」、「デートしている時に起きるDV」、というイメージを抱いていませんか?それは誤りです。DVとデートDV、どちらも深刻さに変わりはありません。どちらも、そして『デートDV』はデートしている時に起きる暴力でなく、**デートをするような親密な関係同士の間で起きる暴力**です。

殴る、蹴る、などによる相手に怪我を負わせるようなものが「暴力」である、というイメージもありますが、実は『デートDV』の暴力はそれだけではないのです。

身体的な暴力

殴る、蹴る、物を投げる、また、怪我がなく、痛くなくても、これらの行為をした時、された時、これは身体的な暴力をしたことを受けたこととなります。

精神的な暴力

怒鳴る、無視する、バカにする、嫌味を言うなどの言動や、携帯電話の通話履歴やメールを勝手に見る、行動をチェックする、などといういわゆる「束縛」も精神的な暴力になります。

『デートDV』の暴力の種類

性的な暴力

相手が望まない時間、場所で性行為をする、避妊や感染症予防に協力しない、また、相手が嫌がっている、乗り気でないのに性行為を強要することはレイプ行為となり性的な暴力となります。

経済的な暴力

お金を借りたまま返さない、金品を貢がせる、おごらせるなどを相手に求めること、また、嫌なのに相手にそのようなことをさせられるのは、経済的な暴力になります。

■デートDVの注意点■

①誰にでも、どんなカップルにも日常的に起こりうる。

優しくて誠実な人でもデートDVをしてしまうことがあります。また女性でも男性でも性別に関わらず、デートDVにあうことがあります。年齢も関係ありません。

②相手にされて「いやだ」、「怖い」と思った行為はすべて『デートDV』。

相手の言動を「いやだ」、「怖い」と思ったことがあるならば、それはデートDVの関係にあるかもしれない。相手によって辛い思いをする、また、自分らしくいられない、行動を制限される(したいことができない)、などが少しでもあるとき、それを「恋愛は我慢」、「相手に嫌われたくない」でごまかしていませんか?それは恋愛ではなく、デートDVです。